

第44回 埋蔵文化財展

発掘された普代村の歴史



おさんど
長途遺跡 / 縄文時代



わりさわ
割沢遺跡 / 江戸時代



ちからもち
力持遺跡 / 縄文時代



しもむら
下村遺跡 / 縄文時代



普代村には60か所の遺跡が登録されていますが、そのほとんどは縄文時代の遺跡です。埋蔵文化財センターが行った発掘調査でも、3遺跡で当時の集落跡が確認されました。

力持遺跡(5,500~4,000年前)は、これまでにおよそ300軒もの住居が見つかった大集落で、大量の土器、石器のほか、ヒスイなどの遠方の産物が見られ、この地域の中心的な集落であることがわかりました。

長途遺跡(5,500年前)からは、この時期にめずらしいお墓の跡が見つっています。また、内陸ではあまり見られない弥生時代後期(1,800年前)の集落が確認されたことも注目されます。

下村遺跡(4,000年前)は、村道のごく狭い部分の調査でしたが、お墓を中心に、住居、貯蔵穴などが計画的に配置されているようすがうかがえます。

割沢遺跡(200年前)は、江戸時代の鉄山で、その一部を調査しました。その結果、生産した鉄の純度を高めるための大鍛冶場が見つかりました。出土した茶碗、煙管きせるなどの生活用品は、鉄山に働いた人々の生活をあらわしています。

令和5年

11/4・5
土 日

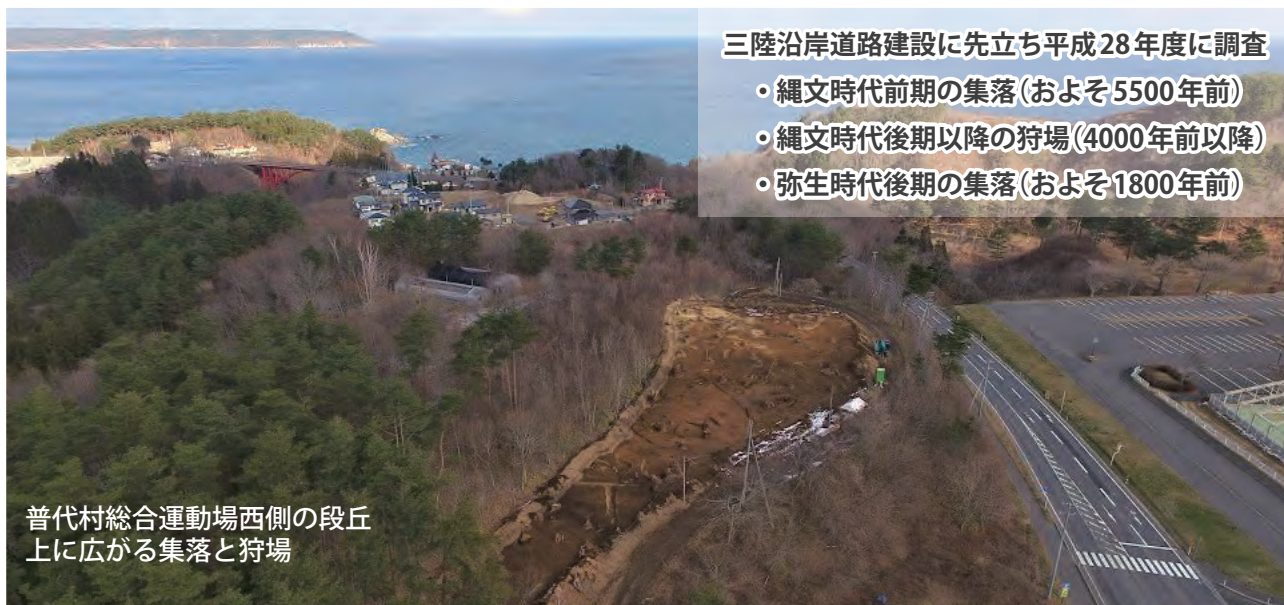
場所

普代社会体育館

主催
共催

岩手県立埋蔵文化財センター
普代村 普代村教育委員会

公益財団法人岩手県文化振興事業団



三陸沿岸道路建設に先立ち平成28年度に調査

- ・縄文時代前期の集落(およそ5500年前)
- ・縄文時代後期以降の狩場(4000年前以降)
- ・弥生時代後期の集落(およそ1800年前)

普代村総合運動場西側の段丘
 上に広がる集落と狩場



およそ5500年前の土器



左側の土器が見つかった穴



弥生時代の紡錘車



おと
 陥し穴

三陸沿岸道路建設のため調査が行われ、縄文時代の集落、狩場、弥生時代の集落が見つかりました。
 縄文時代の竪穴住居からは、およそ5,200年前に降った十和田中振火山灰とわだちゅうせりかざんばいが見つかり、集落はそれより前に営まれていたことがわかりました。集落内にあるいくつかの穴は、埋め戻されていることや出土した土器の状況などから、お墓と考えられます。

弥生時代の集落からは、紡錘車ぼうすいしゃが見つかり、人々が糸を紡いで布を織る技術を持っていたことが確認されました。



お墓と思われる穴



長方形の竪穴住居(5500年前)



平成30年度 村道(黒崎地区)拡幅に先立つ調査
・縄文時代中期の集落(およそ4500～4000年前)
墓を中心とした環状集落か

村道部分を調査しました。



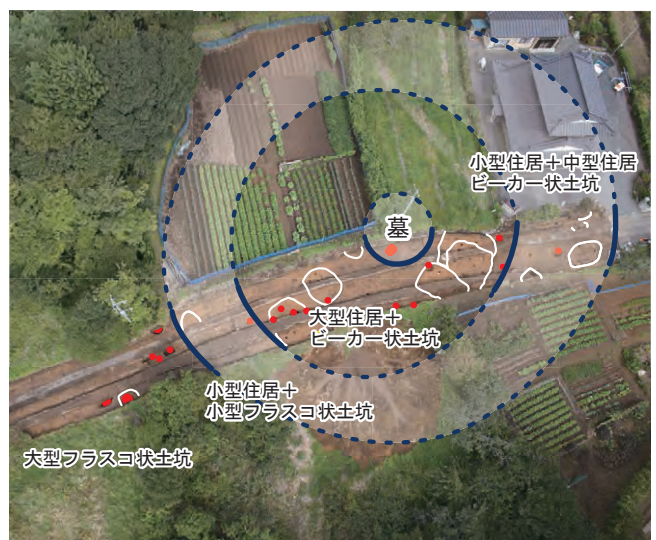
縄文時代の竪穴住居



縄文土器

下村遺跡は、黒崎地区海岸段丘上の標高約197m地点に立地する縄文時代中期後半の集落遺跡です。

平成30年度、村道の拡幅工事に伴って発掘調査が行われ、竪穴住居や貯蔵穴、お墓と考えられる土坑が検出されました。調査区中央の最も標高の高い地点にお墓が作られ、そのまわりには竪穴住居と小型貯蔵穴が、最も外側に大型貯蔵穴がまともってつくられていました。このような計画的に配置された集落は、環状集落である可能性が考えられます。





力持遺跡は海岸から1.2kmの距離にあり、平成13～15年、平成26・28年、令和3年の6回にわたり調査が行われました。竪穴住居約300軒、土器はミカン箱で約920箱、石器類約150箱のほか、遠方からもたらされたヒスイ、黒曜石、^{こくようせき}アスファルトが見つかるなど、この地域を代表する大集落です。

本遺跡は、縄文時代前期から中期にかけて続いた集落で、最大の特徴は、東北地方北部と南部の両方の形式の土器が出土することです。この時期の東北地方には、青森県を中心として分布する^{えんとうしき}円筒式土器と仙台湾が中心の^{だいぎしき}大木式土器があります。



円筒式土器はバケツを細長くした筒のような形をしており(右)、大木式土器は凹凸のある曲線的な形が特徴です(下)。



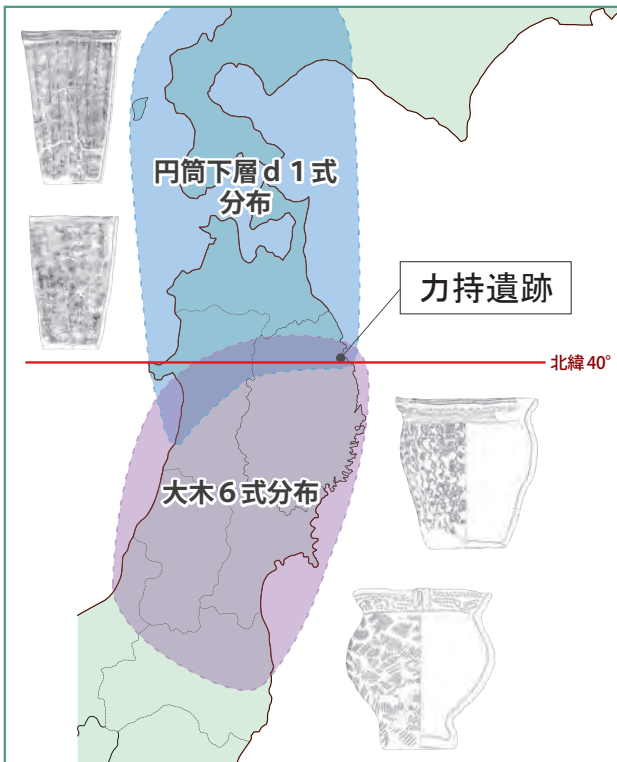
円筒式土器



大木式土器

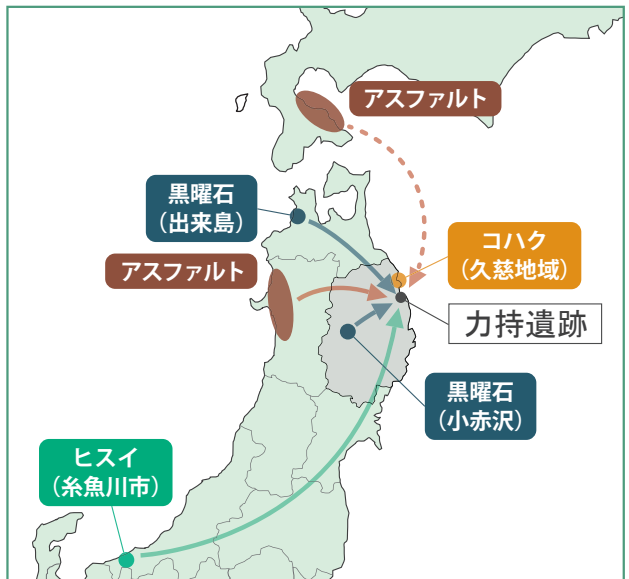
従来から両土器文化の境界は、北緯40度付近にあるのではないかとわれていましたが、力持遺跡がまさにそれを証明しています。

縄文時代前期の終わりごろの
(およそ5,000年前)
土器の分布



南北ふたつの土器文化は、北緯40度付近で交わっています。

力持遺跡にもたらされた
各地の産物



とわ だちゅうせりかざんばい
十和田中樞火山灰(約5250年前)に覆われた穴



文化10年(1813)～文政12年(1829)に操業されたとされる、盛岡藩の割沢鉄山の範囲の一部を平成19年に調査しました。

調査した範囲は、鉄山と推定される場所の北側で、精錬を行った大鍛冶場の一部と推定されます。鉄山を構成したと考えられる鍛冶炉^{かじろ}や建物、炭窯、総重量3.2tにも及ぶ多量の鉄滓^{てっさい}など、鉄生産に関連する遺構や遺物が大量に見つかりました。

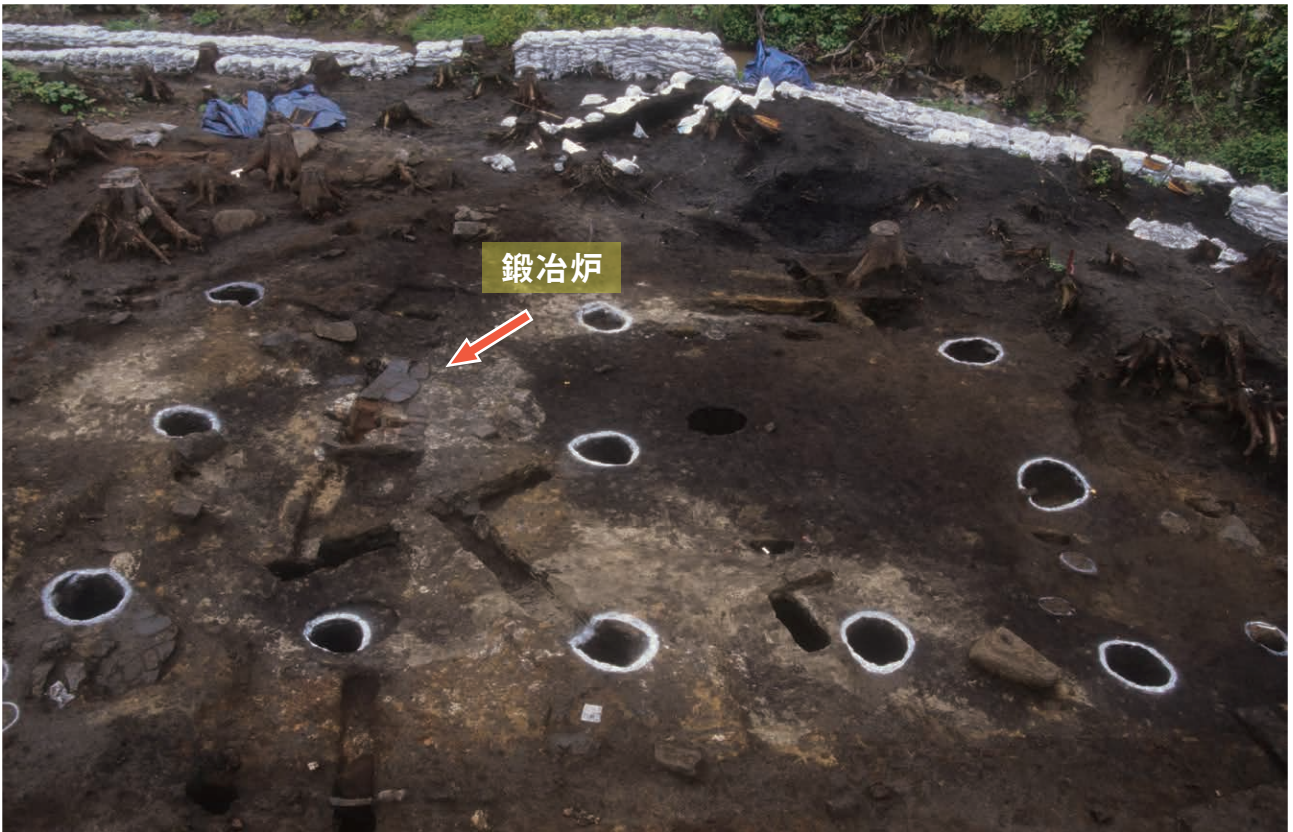
また、陶磁器類^{きせる}、煙管、銭貨など、鉄山操業時の生活の様子を知ることができる遺物も数多く見つかりました。盛岡藩での鉄山のようなすを今に伝える、貴重な調査事例です。



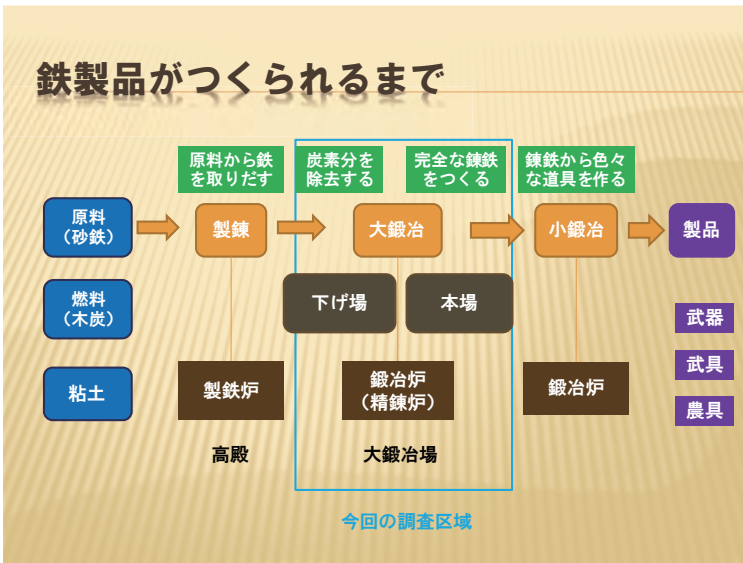
上空から見た調査区



鍛冶炉のようす



ほったてばしらたてもの
掘立柱建物の鍛冶工房



青枠部分が今回の調査区で行われた作業



見つかった道具 ^{かなきろ} 鉄木呂



じゅうのうじょうてつせいひん
十能状鉄製品

生活の道具



きせる
煙管



ひぜん
肥前産 碗



おおほりそうま
大堀相馬産 皿



てっさい
鍛冶作業のできる鉄滓

普代村の遺跡略年表

年代	時代区分	主な事例	普代村の調査遺跡	主な国・県指定史跡	
BC11000年 5000年 3000年 2000年 1000年 300年	旧石器時代 縄文時代 弥生時代	大型動物が生息する			
		気候が温暖になる			
		土器の使用が始まる			
		草創期			
		早期			
		前期	大規模なムラができる	長途	(国)大船渡市関谷洞窟 (国)遠野市綾織新田遺跡 (国)奥州市大清水上遺跡
		中期	漆の本格的な使用が始まる	力持	(国)大船渡市蛸ノ浦貝塚 (国)宮古市崎山貝塚
		後期	東北部で列石遺構がつくられる	下村	(国)一戸町御所野遺跡 (県)田野畑村館石野I遺跡 (国)北上市八天遺跡
		晩期	亀ヶ岡文化が広がる	長途	(国)大船渡市下船渡貝塚 (国)大船渡市大洞貝塚
		AD300年	弥生時代	稲作が始まる	長途
		金属器が使用される			
		卑弥呼が邪馬台国国王となる			
400年 600年 800年 900年 1000年	古代 古墳時代 奈良時代 平安時代	大和朝廷が国家統一を進める			
		古墳が各地につくられる		(国)奥州市角塚古墳	
		仏教が伝わる		(県)矢巾町藤沢伏森古墳	
		聖徳太子が摂政となる		(国)北上市江釣子古墳群	
		大化の改新			
		奈良に都がつくられる(平城京)		(県)岩手町浮島古墳群 (県)野田村野田竪穴住居群	
		京都に都が作られる(平安京)		(国)奥州市胆沢城跡	
		胆沢城や志波城がつくられる		(国)盛岡市志波城跡	
		各地に荘園が広がる		(国)矢巾町徳丹城跡 (県)九戸村黒山の昔穴遺跡	
		前九年合戦がおこる 後三年合戦がおこる		(国)金ヶ崎町鳥海柵跡	
1200年 1400年 1600年 1800年 1900年	中世 鎌倉時代 室町時代 戦国時代 安土桃山時代 近世 江戸時代 明治	奥州藤原氏の滅亡		(国)平泉町柳の御所・平泉遺跡群	
		鎌倉幕府の成立		(国)一関市骨寺村荘園	
		元寇がおこる			
		室町幕府の成立			
		応仁の乱おこる			
		豊田秀吉が全国を統一する		(県)久慈市久慈城跡 (国)二戸市九戸城跡	
		関ヶ原の戦いがおこる			
		江戸幕府の成立		(国)盛岡市盛岡城跡 (国)北上市・金ヶ崎町南部領伊達領境塚	
		鎖国が始まる		(県)軽米町玉川鉄山跡	
		三閉伊一揆おこる 大政奉還		(国)釜石市橋野高炉跡 (県)釜石市栗林銭座跡	
明治維新		(国)奥州市高野長英旧宅			
		割沢			